

# 仕事の奮闘記



## ★那覇大綱挽にハイヤー

10・10空襲で廃墟と化した那覇の復興を目指す那覇大綱挽が10月9日久茂地交差点で開かれ、27万余の人々で賑わった。サキ山さんは県議として招待を受け、本部席で観戦したが、カヌチ隊で協力した市職労の仲間を激励。



脱原発、平和、人権  
女性の集い

8月17日高教組会館で脱原発、平和、人権の学習会を開催した。沢山集った女性達から沖縄の基地強化や小型原発の開発の動きなど沖縄の現状と問題点出された。



## ★吉元政矩(元副知事)を招き沖縄振興の学習会

サキ山議員が主宰する「県政学習会」が8月19日吉元政矩氏(元副知事)を招いて開かれ、今県政の大きな課題の一つである新しい沖縄振興計画について学んだ。吉元氏は沖縄自立のための新しい制度、枠組みを作るのはビジョンが重要だと力説し、参加者に感銘を与えていた。



## ★台風で砂巻き上げ被害

金武町伊芸の海浜公園の砂が台風12号の影響で散策道や住宅、田んぼに巻き上げられる被害にあった。相談を受けたサキ山さんは、市役所時代の先輩津嘉山さんの案内で10月に現地調査し対応。県は早速工事を実施している。



## 全港湾労組と意見交換

サキ山さんは、全港湾大城委員長はじめ、役員の皆さんと、沖縄セメント労の争議について意見交換を行った。



## 労働者福祉の集い

8月職員の福利厚生集いに参加、健康、災害、保険の労働者福祉を充実させよう。

地域の声を共有しよう！

# かけはし

号外

2012/3



## 3月定例議会、サキ山県議県当局を追求

3月議会では、普天間基地固定化阻止、識名トンネルの虚偽契約問題、沖縄水産と南部工業の高校統廃合反対、古島団地再開発問題、離島振興、都市モノレールの延伸と路線バスとの結節システムの構築を質問し、県の姿勢を質しました。

私の政治信条は、「県民第一、生活優先」を基本として、消費税率の増に断固反対、TPP参加反対、基地の機能強化反対し、雇用促進、平和・教育・福祉の増進を図っていきます。これからも、県民視点での県政チェックを行い、すべての人に、行政の恩恵があるように、議会活動を行っていきます。

### 県民第一・生活優先の政治をめざします。



米軍流弾事件への抗議 1



#### ←真和志地域の要望を実現

真和志三原に住む新垣さんの陳情で、道路とマンホールの段差を確認するサキ山議員(新年度にに修繕予定) これまでも、県や市に働きかけを行い、数々の陳情を解決し、「さすが、サキ山さん」と、地域から喜ばれています。

#### 首里汀良町からの

#### モノレール延伸を→

モノレールを延伸し、交通渋滞を解消策として、公共バス交通との結節を促進し、地域住民の利便性を高める取り組みを県議会で発言。



米軍流弾事件への抗議 2



平和の創造を語る大田昌秀(元県知事)から激励うけるサキ山県議。

(大田平和総合研究所にて)



# かけはし

号外

2012/4



水産業振興にも積極的な提言と質問を行うサキ山さん。

## 頑張っています!

### 高校編成整備計画を止めよう。

# 沖水の伝統・実績を活かせ

## 水産振興策を積極提言

3月議会



県議会議長に陳情したサキ山さんをはじめ、水産同志生の面々。中央が高嶺議長。

## 創水産も資源大事の



県の水産事業に関心の高いサキ山さん。獲る漁業から作る漁業を実践する本部の栽培漁業センターで養殖漁業の現状を視察。職員から事業の説明を受け、漁業の振興には水産資源の創出も大事だと痛感しました。

## 「沖水」の存続求め、議長に陳情

県教育庁が計画する県立高校編成整備計画で、サキ山さんの母校、沖水が統合されて名称や学科が消えようとする事態を受け、沖水の同窓会とともに「高校編成計画に異議あり」と高嶺議長に陳情しました。



## 転落事故を繰り返さないように地域活動

昨年の国場川の痛ましい子供の転落事故。サキ山さんは事故を二度と繰り返さないよう防護策の早急な設置を県に要請。マスコミでも取り上げられました。



## 識名トンネル工事 地盤沈下も問題に


識名トンネル工事の偽装契約問題で5億8千万円の税金を無駄使いした県当局の責任を追及しているサキ山さん。今度はこのトンネル工事の影響による地盤沈下問題が発生。識名在住の平良忠誠さんに案内されて、現地調査。県議会の土木環境委員会で、県当局に地盤沈下の解決を図ることを約束させました。





# 2 期 目

2012年7月～2016年6月





# かけはし

号外

2012/7



防衛省にて政務官へ要請書を  
手渡すサキ山議員（団長）

6月議会

## 初心忘れず 2期目始動!



### 初議会でオスプレイ配備計画撤回決議を提案 要請団長を担い上京し、政府・民主党へ要請

#### 本格活動を開始

#### 県議会開会、

選挙後最初の県議会が6月26日から始まりました。私は開会初日の本会議において、県政の焦点の課題「オスプレイ配備計画撤回を求める意見書」を提案、可決させ、7月1日に上京、首相官邸はじめ外務・防衛・沖縄担当大臣への要請を行いました。

#### 雇用など知事の政治姿勢を質す

また7月3日には社民・護憲会派の代表質問で、知事の政治姿勢とともに、消費税増税、後期高齢者医療制度など見解を質しました。  
その他、首里城公園に関し、100億円余の内部留保資金を有し、年間4億円もの収益をあげている管理団体を批判し、県への一括管理を求めました。雇用の拡大について、本土との格差はますます広がっており、既存産業の支援、新規産業の創出などの対策が追いついていない現状を追及しました。古島団地問題では、開発費用13億の控除を受けながら、住民追い出しを図る業者や、5億円の寄付を受けながら責任逃れをする県の姿勢を強く批判しました。

崎山 嗣 幸

#### オスプレイ配備反対県民大会

#### 8/5

# かけはし

NO.78

2013/1



初議会でオスプレイ配備計画撤回決議を提案  
要請団長として、政府などへ要請

(昨年7月)



野党最大会派(社良・護憲ネット)団長として、粉骨砕身頑張ります。

## オスプレイ配備撤回を要請

### 超右翼政権に危機感

県民、市民のみなさん、今年には波乱含みの幕開けとなりました。政治情勢は三年半前の政権交代への期待が空しく崩れ、暮れの総選挙で自公政権に逆戻り。憲法改悪、国防軍、集団的自衛権行使、果ては徴兵制、核武装の議論、まで飛び出す超右翼的政権の登場を許してしまいました。沖縄は、米軍普天間飛行場の早期閉鎖、返還、MV22オスプレイの配備撤回を求める世論が高まっています。県議会では、意見書を政府に求める要請行動を行いました。辺野古新基地断念を求める行動と共に活動を活性化させよう。

県議会議員 崎山 嗣幸

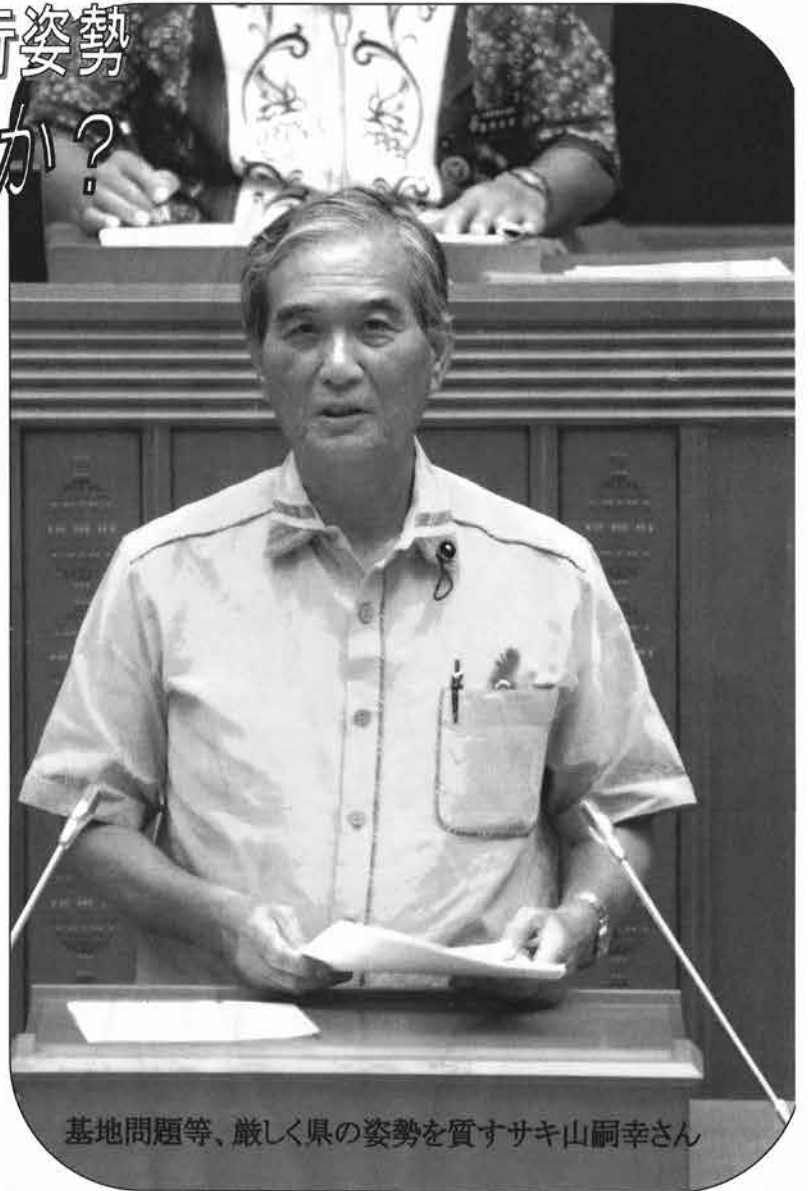




# 政府の辺野古移設強行姿勢 知事の県外は本気か？

政府自民党政権は、普天間基地の「危険除去」と「固定化回避」を強調し、辺野古移設への圧力を強めている。知事は環境影響評価の意見で「環境保全は不可能」と結論つけ、辺野古埋立不承認をにじませた。知事にその姿勢はゆるぎないものか質した。また、これまで理由としてきた名護市長の反対姿勢は来年1月の選挙結果次第では、知事の姿勢が変化するか迫った。

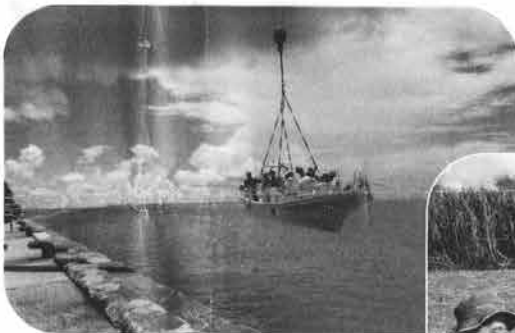
その他、「日台漁業協定」「待機児童解消」「旧郵住協への県の指導」などの課題を知事に質した。(発言要旨は2面)



基地問題等、厳しく県の姿勢を質すサキ山嗣幸さん



経済労働委員会にて日台漁業協定に関する聞き取り調査や海ぶどうなど離島の産業振興について視察を行うサキ山嗣幸さん。(久米島町)



9月定例議会を前に南大東村、現地の干ばつ状況と県の施策について労働経済委員会で視察するサキ山嗣幸さん。

